

防災無線のデジタル化に伴う戸別受信機の更新工事について

厚真町では今年度、防災行政無線のデジタル化のため戸別受信機更新工事を実施しています。

下記の旧型戸別受信機は、2月以降使用できません。



青色



灰色

音量ダイヤルの色が「青色」または「灰色」

旧型戸別受信機をお使いの方はご連絡ください。 総務課 防災グループ ☎27-2481

厚真町での活動は？
昨年3月に登記された株式会社西栗倉・森の学校厚真支社で、厚真町を拠点に北海道産の木材を流通させる仕組みを作る準備を進めています。コロナ禍で輸入木材が減少していることもあって国産木材の需要が高まっています。そこにチャンスがあると考えています。

林業に造詣が深いようです
幼少期は、山村で育ちました。村の過疎化が進み危機感を感じていて、生まれ育った山を守りたいという思いがありました。原木の流通や木製品製造を行う岡山県西栗倉村の同社で開かれた、起業家の勉強会に参加して刺激を受け、林業への思いがより強まりました。

自分が感じている疑問を解決するためには挑戦している会社だと知り、同社に転職を決めました。
西栗倉村ではなく、なぜ厚真町だったのですか？
同社厚真支社の存在です。北海道は「遥か北の大地」という印象で移住は不安でしたが、北海道に愛着のある妻は大喜びでした。やりがいにはもちろん、妻の後押しもあり新たなチャレンジの場を選びました。妻の後押しがなければ、厚真町への移住はなかったかもしれません。

佐々木拓哉さん(28歳)

着任 令和3年8月(1年目)
出身地 北海道安芸太田町

厚真町地域おこし協力隊

企業研修型地域おこし協力隊



大学卒業後、5年間は林業やチップの製造管理と運送を一貫して行う会社で働きました。伐採した丸太のほとんどが価値の低いチップとして加工されていることに疑問を感じ、木の特徴に合わせて用途に振り分けて流通させたいと思うようになりました。森の学校は、伐採した丸太を丁寧に選別し、通常廃棄してしまうような端材も商品として開発・流通させています。まさに

抱負を聞かせてください
木材をしっかりと流通できる状態にしたいですね。会社で扱う木を適切にコントロールして、それぞれの木を適切な場所へ供給できる状態にしたいです。当面の目標は、年間1000mを目指しています。

町の中心部に必要なものが集まっていて、都会的で暮らしやすい印象です。町内には林業関係のプレーヤーが増えているので、地産地消したいという意識が高く、一緒にチャレンジできる絶好のタイミングだと感じています。

まちのアイドル

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。

(メール)kikaku@town.atsuma.lg.jp



あんぜ こうすけくん(3)



おおがき やよちゃん(3)



はなおか まなかちゃん(3)

町では、災害情報や町からのお知らせが放送される「防災行政無線」を無償貸与しています。
「もしものとき」は明日かもしれない 問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481



防災のページ 厳冬期の防災について

災害に備えて

厳冬期の災害対策には、暖を取るための備品の備えが肝要です。直接、体を温める防寒着や防寒具、使い捨てカイロなどのほか、手早く温かい食事を取るためのカセットコンロや食料と飲料水、停電でも使える暖房器具も必要です。また、避難所への避難を想定して、手指消毒液やマスクなど、感染症の防止対策も心がけましょう。

暴風雪に備えて

冬の天候は、急変することもあり、テレビやラジオなどで最新の防災気象情報を確認しましょう。暴風雪が予想される場合は、外出を控えてください。

【やむを得ず車で外出する場合は】

- ・防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車載して外出しましょう。
- ・燃料が十分にあることを確認しましょう。
- ・運転の最中に危険を感じたら、無理をせずコンビニエンスストアなど安全が確保できる場所で天候の回復を待ちましょう。

【吹雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは】

車が雪に埋もれた状態でエンジンをかけ続けていると、排気ガスが車内に充満して一酸化炭素中毒になる危険性があります。悪天候で動けなくなり、近くに人家や避難できる場所がない場合は、消防(119番)や警察(110番)へ通報し、マフラーが雪に埋まらないよう定期的に除雪して窓を開けるなど換気しながら、落ち着いて救助を待ちましょう。



避難について

災害時に身の危険がある場合は、避難が原則です。一方で、災害時に避難者が多く集まる避難所は、新型コロナウイルス感染症などの感染リスクが高まります。自分の住んでいる場所(地域)にどのような災害リスクがあるのか、ハザードマップで事前に確認し、自宅の安全確認や避難の必要性を検討しておきましょう。自宅での安全確保が可能な場合、感染リスクを伴う避難所への避難は不要です。無理に避難せず、自宅で安全を確保しましょう。また、安全な地域にお住まいの親戚や友人・知人の家等、避難所以外への避難先も検討しておきましょう。

Jアラート 全国一斉情報伝達試験

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、次のとおり情報伝達試験を行います。

- ・厚真町以外の地域でも、さまざまな手段で情報伝達試験が行われます。
- ・携帯電話やスマートフォンなどへの伝達はありません。

2月16日(水) 11時ごろ

※災害等の発生により、試験を中止する場合があります。

Jアラートの自動起動機を使用して防災行政無線・屋外拡声器から放送される標準メッセージは次のとおりです。
♪上りチャイム音♪
「これは、Jアラートのテストです」×3回
「こちらは、ぼうさいあつまです」
♪下りチャイム音♪

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

ほくでんネットワーク

停電情報をLINE・チャットでお知らせします



停電情報をLINEでお知らせします。ぜひお友だち追加してください!

←お友だち追加はこちらから

停電・設備に関するお問い合わせはチャットでも受け付けています。ぜひご利用ください。



チャットはこちらから→

北海道電力ネットワーク(株)小牧支店 業務部お客さまサービスグループ ☎0120-060-852 (平日9時~17時)